

FirstGlobal メッセージ

# siesta

2014.4月号 vol.131

\*シエスタとは、スペイン語で『昼寝』の意味です。

リラックスしながらお読み下さい。

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email [shinagawa@1gc.jp](mailto:shinagawa@1gc.jp)

URL <http://www.1gc.jp>

## 今月のトピックス

### 母のこと

今回より自身の話になりますが、私の母のことを書きたいと思います。2年前にクモ膜下出血で倒れたのですが、周りの皆様の助けにより、マヒもなくなり、また自宅ではぼひとり生活できるようになりました。もちろん本人のがんばりもあります。そのままあの世へ逝ってたらそれまででしたが、当時目を覚ました後、おそらくこのままではマヒも残り、元のような生活を送ることができないかもしれない。そうならないようにするためには家族として何ができると考え、いろんな書籍やサイトを見て研究しました。やはり脳梗塞なども含め、脳疾患の後遺症で苦しんでおられる方がたくさんいらっしゃいました。まずはやってみないとわかりませんので、いろんな手法を取り入れました。もし、これをご覧いただいている方々が方が同じような境遇に遭ったとき、少しでもお役に立てればと思い、ここに記します。具体的には『デルタレゾナンス』という音声、『川平法』というリハビリ法、『官足法』という足裏マッサージ、それから『イージウォーク』です。繰り返しますが、これら全てがよい影響を及ぼしたか、いずれかが直接的に影響したかははっきり言ってわかりません。しかし、当時の私と同じような境遇にいる方に少しでもご参考にしていただけたらと思います。2012年1月11日の朝、実家の近くに住む叔父から母が倒れて救急車で病院に担ぎ込まれたと連絡が入りました。病名は「クモ膜下出血」、直前の帰省時に母は足が痛いと言っていました。鳥取でちぎり絵を教えて、地元のテレビや新聞でも取り上げられ、次の作品作りに忙しくしていました。もう事務所に出勤した後だったので、ひとまず手許を片付け、一旦帰宅し、何日か滞在できる準備をして鳥取へ向かいました。今年の冬も寒いですが、当時は豪雪であったことを今でも覚えています。病院に到着したら、親戚一同が待合室で待機していました。叔父に聞くと約8時間の手術が終わり、昏睡状態であるとのこと。医師からは、生存、死亡、そして生存しても植物状態が続く確率は其々三分の一ずつと告げられました。

## < next >

おかげさまで、篠山マラソン、4時間58分で無事完走できました。

応援いただいた皆様、ありがとうございました。

やはりポイントは、スペシャルドリンク、GPS時計、アスリート向けのローヤルゼリーでした。やはり何事も戦略が必要ですね。